

高等部 ①プロバスケットボール選手との交流

バスケット実技



ビデオの視聴



ソーシャルディスタンスを取りながらビデオレターを視聴

②大使館の方に手紙を送る

返信①

東京都立墨田特別支援学校
高等部3年生のみなさんへ
たくさん質問を送っていただきありがとうございました！
皆さんがこの回答を楽しんでくださると嬉しいです。

ケルシー・デリナルディス広報文化交流部 文化交流担当官補



This is me and my husband in our yukata!
(浴衣姿の私と私の夫です！)

大使館員の方から自己紹介

① なぜ米国大使館で働くかと思ったのですか。
Why did you decide to work at the U.S. Embassy?
Answer:
I decided to become a diplomat after I studied abroad in high school. When I was in 10th grade, I had the opportunity to be an exchange student in Russia, organized by the Rotary International organization. I was there for 3 months. I lived with a Russia host family and had a host sister that was my age. It was the first time I ever left the U.S. I was so surprised to find out that my host sister, who lived on the other side of the world, was just like me! We had the same silly stories about friends and the same concerns with school or our families. It was the first time that I felt the world was so small and that I realized there is so much more that people have in common than we have that's different. From then on, I wanted to be a diplomat to bring people together, so that we can recognize and celebrate the same wonderful things we share in common.

高校の時に海外で勉強した後、外交官になりたいと決めました。高校1年生の時にロータリー・インターナショナルのプログラムで交換留学生としてロシアに行く機会がありました。一か月間滞在しました。ロシア人のホストファミリーと一緒に生活し、同じ年齢のホストシスターがいました。アメリカを離れて生活したのは初めての経験でしたが、私は世界の反対側に住む私のホストシスターととても似ているのびびりました！私たちが二人は友達について同じような話や悩みがあったり、学校や家族について同じような悩みをかかえていたりしました。そのとき私は初めて世界はとても小さくて、人々は異なる点よりも多くの共通点があるんだということがわかりました。その時から、私たちに共通する素晴らしいことを認識して、それを祝福できるようにするために、人々を結びつける外交官になりたいと思うようになりました。



My host sister Anna and I picking berries at her house in Russia.

「なぜ、大使館で働くようになったのか」質問に対する返信

バスケットボールの交流では、元Bリーグのプロ選手で現在3×3バスケットボール日本代表候補の講師から、ビデオレターでの実技指導アドバイスを参考に、実技に取り組みました。生徒からは「直接教えてもらいたかった、一緒にバスケがしたかった」と感想がありました。

外国語の授業の一環として、で大使館員の方に手紙を書きました。それに対する返信をいただきました。

文責：高等部 浅香 道雄